

災害用伝言ダイヤル

171

大規模な災害で電話がつながりにくい
状況になった場合に提供が開始され
る音声の伝言板です。家族で使い方
を確認しておきましょう。



使い方 まずは「171」に電話をかける

メッセージを残す

メッセージを再生する

1 を入力

相手の
電話番号を入力

1 を入力

録音 ※録音は
30秒以内

2 を入力

相手の
電話番号を入力

1 を入力

再生

インターネットでも
「web171」

スマホのアプリでも
「災害用伝言板」

使い方やアプリのダウンロードについては [災害用伝言板 検索](#)

その他 メールやSNSを組み合わせて使用

Twitter、Facebook、LINEなどのSNS(ソーシャル
ネットワークサービス)のメッセージ機能も、非常時の
連絡方法のひとつです。

あわ?

と思った
時にはもう遅い!



・・・・・・・・
いますぐ災害に備えるための



栄防災 ノート



“はじめに”

まずは、あなたの「大切なもののリスト」を作りましょう

- 例えば
- 家族 ●恋人 ●友人 ●ペット
 - 趣味の読書 ●スポーツ ●映画 ●旅行
 - やりがいのある仕事 ●なにもしない贅沢な休日
 - 行ってみたい場所 ●食べてみたいグルメ
 - 体験してみたいこと

大切なもののリスト

書き込んでみよう!



災害は、大切な命と生活を一瞬で奪います

「いつか」ではなく「いま」災害に備えてください
この防災ノートは、あなたの大切なものを守るための冊子です



目次

- 3 備蓄をしよう!
- 11 地域のみんなで助け合おう
- 5 家の中の安全を守ろう!
- 13 防災情報を入手しよう
- 7 避難する場所を確認しよう
- 14 家族との連絡方法を決めておこう!

令和2年12月発行

[発行]栄区セーフコミュニティ推進協議会災害安全対策分科会 [事務局]横浜市栄区総務課防災担当
〒247-0005 横浜市栄区桂町303-19 TEL:045-894-8312 FAX:045-895-2260



新型コロナウイルスなど
感染症に備えましょう

“このノートと合わせて”

栄区で発行している防災関連マップの情報を確認しながら、防災ノートを完成させましょう！



栄区防災マップ

地震の時の避難場所「地域防災拠点」の場所などを確認できます。



栄区避難所マップ(風水害編)

- いたち川や柏尾川が氾濫したときに浸水が想定されるエリアや土砂災害に警戒が必要なエリアを確認できます。
- 河川の氾濫や土砂災害の危険があるときに行政が開設する避難所も掲載しています。

その他のマップも
こちらから
ダウンロードできます！

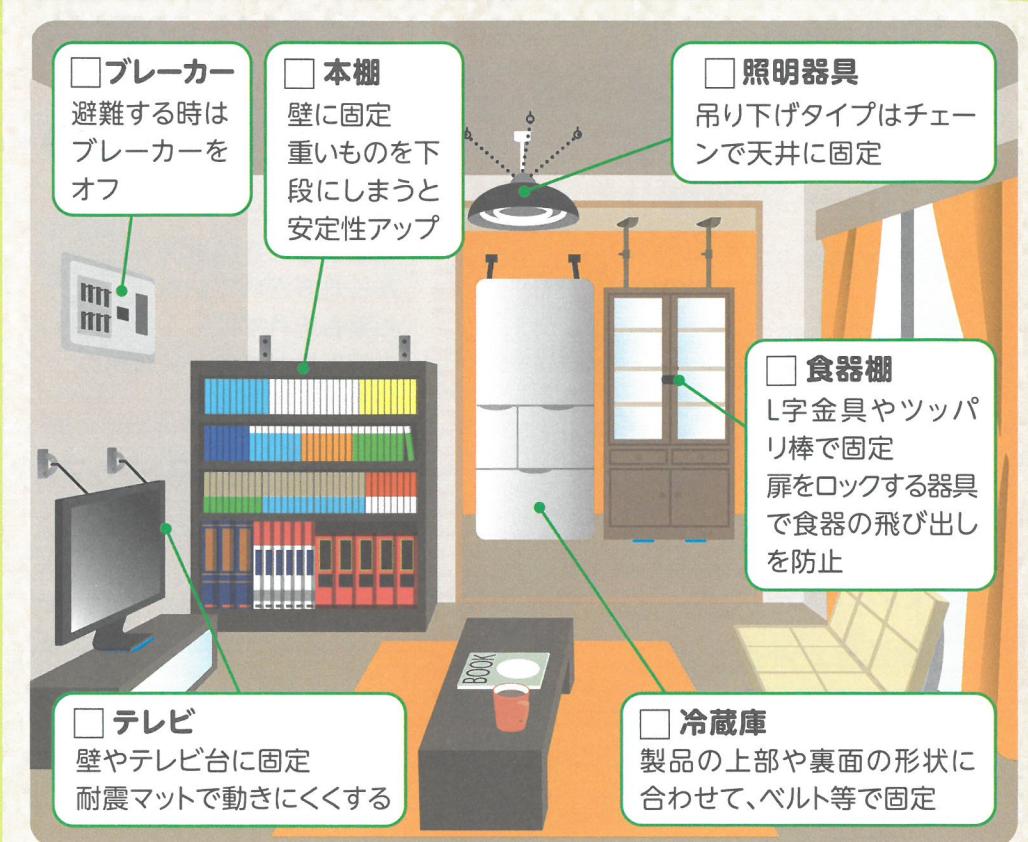
防災関連マップの入手方法

- 栄区役所総務課(4階41番窓口)で配架しています。
- 栄区ホームページからダウンロードできます。



家の中の安全を守ろう!

過去の震災では家具の転倒により人が下敷きとなって亡くなる事例が多く発生しました。大切な命を守るために、家具の転倒防止器具を設置しましょう。



家具転倒防止器具設置のお手伝い

ご自身が用意した家具転倒防止器具の設置を男性ボランティアグループ「いでたち」のメンバーがお手伝いします。

お問い合わせ:栄区社会福祉協議会 ☎ 894-8521



いでたち
ホームページ

栄区 いでたち 検索

器具の説明



L字金具

壁と家具をネジ等で固定



ツッパリ棒

家具と天井の隙間に設置



開き戸ロック

搖いで開かないように固定



耐震マット

家具と床面を粘着させたり、壁側に傾斜させます



ブレーカータイプ



簡易タイプ

その他の安全対策

感震ブレーカーの設置

停電が復旧したとき、電気機器の漏電により火災が発生することがあります。避難で家を空けるときは必ずブレーカーをオフにしましょう。

感震ブレーカーは地震時に揺れを感じて自動的にブレーカーをオフにします。さまざまなタイプがあるので近くの家電量販店などで確認してみましょう。



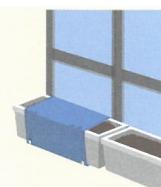
ガラスの飛散防止

飛散防止フィルムを貼ると、地震や台風などでガラスが飛び散る被害を少なく抑えられます。

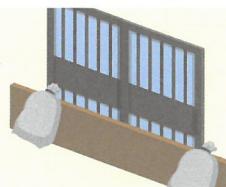
大雨に備えて

河川の氾濫などによる住まいへの浸水を防ぐ「土のう」の代わりに身近なものが利用できます。

土を入れたプランターをレジャーシートで巻き込み設置します



畳やテーブルなどを扉の前に立てて設置します



避難する場所を確認しよう

大地震のとき

発災

自宅
住み慣れた家で避難生活を送りましょう



C 地域避難所
地域が自動的に開く避難所です

※地域避難所を選定していない
自治会・町内会もあります



知人の家
被害を受けていない知人の家への避難も選択肢のひとつ
普段から話し合いましょう

A いっとき避難場所

地域の人と被害状況を確認する場所です
【確認項目】

- ・けがの有無・家族の安否・今後の滞在先

自宅が安全なら

自宅で生活できない

火災の時

B 広域避難場所
大規模火災から一時的に避難する場所です



D 地域防災拠点
自宅で避難生活が送れなくなった人が避難する場所です

災害によって自宅での生活が難しくなったときには、安全に避難ができるよう、避難する場所や避難する経路について家族や近所の方と話しあっておきましょう。

また、大地震と風水害それぞれのときに、どのように避難するか決めてノートに書き込んでおきましょう。

地域防災拠点(指定された区内20か所の小中学校)

開設条件

気象庁が横浜市内で震度5強以上の揺れを発表したとき



開設者

地域の方
(運営委員会)



配給物資

あり(自宅で避難している方も配給を受け取ることができます)



避難者も避難所の運営に協力して生活を送ります
3、4ページの備蓄品も持参しましょう

あなたの避難する場所は

調べて書き込もう!

A いっとき避難場所(ご近所の方と確認) **B 広域避難場所(防災マップで確認)**

C 地域避難所(自治会・町内会で確認)

D 地域防災拠点(防災マップで確認)

その他

その他

避難する場所を確認しよう

大地震と風水害の時で
避難する場所が違います!

危険

危険があるエリア

危険が少ないエリア
に避難する

風水害 のとき

危険が少ないエリア



A 区役所が開く避難場所
身の危険を感じたら避難する
場所です



宿泊施設

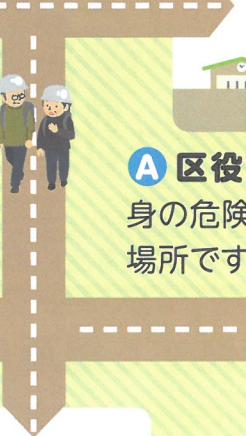
ホテルなどに避難す
ることも有効です
あらかじめ候補を決
めておきましょう

知人の家

危険が少ないエリ
アに住んでいる知
人の家も選択肢

B 地域避難所

地域が自主的に開
く避難所です



自宅にいることが危険だと感じたら、早めに避難! 避難する経路が
通れなくなった時などに備え、複数の避難先を考えておきましょう

区役所が開く避難場所 最新の避難所マップを確認(2ページ参照)

土砂災害の危険あり

- 笠間小学校
 - 旧庄戸中学校
 - 桂公田町会会館
 - 本郷台小学校*
- *状況に応じて開設

開設者

区役所の職員



配給物資

原則なし
(必要なものは持参)



開設条件

気象庁が土砂災害警戒情報(横浜市
南部)を発表

または、横浜市や栄区が避難情報*
を発表

*避難準備・高齢者等避難開始、
避難勧告、避難指示

必ずホームページ等で開設状況を確認してから避難しましょう(13ページ参照)

自宅が危険な区域に入っているかどうか確認しよう

栄区避難所マップ(風水害編)で

- ▶あなたの自宅は浸水の危険が(ある ・ ない)
 - ▶あなたの自宅は土砂災害の危険が(ある ・ ない)
- ある・ないに
丸をつけてみよう!

危険がある場合の避難先

栄区避難所マップ(風水害編)で確認

A 区役所が開く避難場所

B 地域避難所(自治会・町内会に確認)

その他

その他

!
外に出ることが危険な場合は、建物のできるだけ高い階に避難しましょう

地域のみんなで助け合おう

普段からの準備が大切です!

顔の見える関係づくりを心掛けましょう

日頃からあいさつを行ったり、地域の方が集まるイベントに気軽に参加して、ご近所の知り合いを増やしましょう。



防災訓練に参加してみましょう

地域の防災行事に参加してみましょう。実際にやってみると自分が災害時にどのように避難したらよいのかイメージがわいてきます。



いざというときに助け合える関係を築きましょう

災害時に備えて、日頃から近所の方や自治会町内会の方に家族構成や病気・障害の有無など自分の状況を知ってもらい、助け合える関係を築きましょう。

*14ページに支援をお願いした方の名前と連絡先を記入しておきましょう



発災時には地域や近所の方たちと声をかけあって一緒に行動できるよう、周囲と協力しながら避難できる態勢を整えておくことが大切です。

いざというときの対応方法

止血の方法

出血している傷口をガーゼなどで強く押さえ、止血します。

【必要な材料】

- ・清潔な布
- ・ガーゼ
- ・ハンカチ
- ・ビニール手袋
(ポリ袋でも代用可)



感染を防止するため、処置する人は袋などで手を覆う



清潔なガーゼやハンカチなどを傷口にあてる



心臓より高い位置に傷口を上げ、強く押さえる



止血ができれば、包帯やハンカチなどで固定する

骨折の応急措置

痛みがある箇所はむやみに動かさず、添え木をあて、血流を止めないようにしましょう。

【添え木になるもの】

- ・ラップの芯
- ・折り畳み傘
- ・細く巻いた新聞
- ・段ボール など



折れた骨を支えるために添え木になるものを用意



折れた骨の両側の関節と添え木を布などで結び固定



三角巾やビニール袋などを使って、固定した腕を首からつる



より安定させるため、つり下げている布を胸にしばりつける

今すぐ
登録しよう!

防災情報を入手しよう

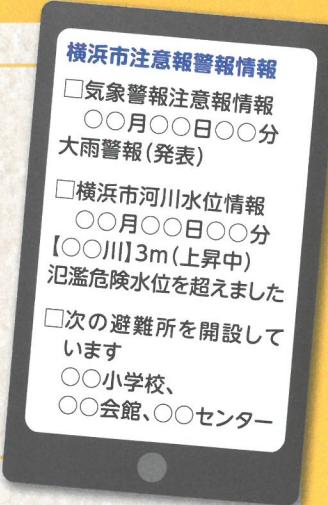
横浜市防災情報Eメール

地震、気象警報、河川水位、避難所の開設状況など緊急のお知らせを配信します。

空メールを送信すると登録できます。



防災情報Eメール



栄区役所ホームページ

災害時に避難所の開設情報などを発信します。その他さまざまな防災情報も掲載しています。



栄区ホームページ

ツイッター栄区公式アカウント

災害時に避難所の開設情報などを発信します。普段は栄区の魅力を発信しています!



栄区ツイッター公式

栄区 Twitter 検索

Yahoo!防災速報

緊急地震速報や豪雨予報、避難情報などをいち早くお知らせします。

二次元コードからアプリをダウンロードしてみましょう。



アプリ版

家族との連絡方法を 決めておこう!

話し合ったことを
書き込もう!

家族の連絡先一覧

その他必要な連絡先 学校、習い事、かかりつけ医、ご近所の方など

家族の約束事 家族の集合場所は○○、大地震が起きたら○○さんに声掛けに行くなど